

Public Voices 声のらん

皆さんの「声」にお答えします。



《声のらん》では、「市長への手紙・ポスト」などに寄せられた声とその答えの中から、市民の皆さんの参考になる問答をご紹介します。(内容確認のため、連絡先と名前をご記入ください。)
【〒066-8686 / 東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報聴課宛】

シルバーおでかけパスの時間帯を拡大してほしいのですが…

〔76歳／男性〕

声 75歳以上の高齢者は、10時から16時まで100円で市内バスを利用することができますが、病院などに行くときこの時間では足りないのです、時間指定を無くしてほしいです。

答 《シルバーおでかけパス》は、バス事業者の協力のもと、利用者が少ない10時から16時までの時間帯において、乗客を増やすことを目的として導入した制度です。利用時間帯の拡大については、バス事業者の財政的な負担が伴いますことから、難しいものと考えております。

路線バスを取り巻く環境は、利用者の減少や乗務員不足など、全国的に非常に厳しい状況にあり、多くのまちでは、バス事業者の撤退や、バス路線の一部廃止となる事態がおきています。

こうした中、市は、通勤や通学など日常生活に必要な公共交通を確保するため、平成28年10月に市内のバス路線を抜本的に再編し、路線数や運行便数を拡大したほか、利用者が少ない10時から16時までの時間帯の利用促進策として、これまで利用が少なかった75歳以上の方を対象に、1乗車につき100円で利用できる《シルバーおでかけパス》の制度をバス事業者の協力により導入し、路線バスの便数を維持しながら、《採算性》と《利便性》の両立を図ってきた

企画部 主幹 (交通政策担当)
お答えします
☎(24)08997 FAX(22)8854

とところです。

再編後については、路線バス全体の利用者が増加しているほか、シルバーおでかけパスの利用時間帯についても利用者が増加しており、制度導入の成果が表れています。

シルバーおでかけパスの利用時間帯の拡大については、本制度の趣旨が、利用者が少ない昼間の時間帯の利用促進を目的としていることに加え、バス事業者の財政的負担が伴いますことから、利用者の多い朝・夕の時間帯への拡大は難しいものと考えております。

今後も引き続き路線バスの維持と利便性向上に努めますので、ご理解をお願いいたします。

ちとせ 地 世 からの 科技大

第9回
全12回

地域から
世界に

光が活躍する未来へ

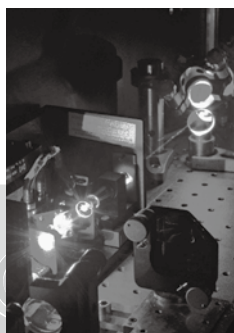


電子
光工学科
小田 久哉 准教授
ODA HISAYA

シリーズ全般
公立大学法人
公立千歳科学技術大学
☎(27)6001
☎(27)6007

教育21世紀は光が活躍する時代になると期待し、1998年に光を専門とした教育・研究を行う大学として本学が誕生しました。「光科学」や「光技術」と聞くと難しくどこか自分達とは遠い存在と思われがちですが、太陽の光をはじめとし、我々の生活に無くてはならない存在です。この20年で光技術は進展し、最近では家庭でひかり電話が登場し、信号機がLEDに変わり、市内でソーラーパネルを見かけるようになったと思います。まさに光が活躍する時代になってきています。さて、活躍の場を広げている光ですが、実はまだ光の能力を十分に使いきれていません。それは電子のように光を自在に制御する(操る)ことが出来ていないからです。その一つに光を貯めることや、光の速度を自由に遅くすることが出来ていません。私たちの研究室のテーマは光を自在に制御することです。その方法の一つとして

ガラスのような媒体にナノメートルサイズの空孔を規則正しく導入した構造体です。ちよっと不思議な構造ですが、この構造の効果により光を狭い場所に閉じ込めることや、光の速度を遅くすることが可能です。研究室では光の速度を100分の1以下にすることに成功しています。この効果を利用した新しい原理のレーザーや光スイッチの応用について研究を行っています。本学では多くの教員が光に関する研究を行っています。公立千歳科学技術大学の「光」の研究成果もどうぞ注目ください。



共同利用物性実験室レーザー